

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		世界史B(4)			
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数	
原則1年次		通年	4	12	
科目の概要	世界史の古代から現代までの流れを各地域の歴史を中心に学習し、現代の世界が抱える諸問題や各地域の社会や文化の多様性を現代の視点から考察する。また、世界の歴史を我が国の歴史と関連づけて理解し、国際社会の中で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身に付ける。				
科目の目標	現代に生きる私たちが歴史から学ぶ姿勢を身に付け、現代の諸問題をどのように解決すべきか、よりよい未来を築くため、国際社会の中で主体的に生きるためにいかにあるべきかを考え、行動する態度を育む。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	世界史への扉 第1部 文明と地域世界の形成 第1章 西アジア世界・地中	○各文明の成立の経緯と特徴を学習する。 ○オリエント、ギリシア・ローマ世界について概観する。	1	1	前期
	第2章 南アジア世界・東南アジア世界の形成	○インド、東南アジア地域の多様性と各地域の社会や文化の特色を比較して理解する。		2	
	第3章 東アジア世界・内陸アジア世界の形成	○中国文明が成立し発展する経緯を学び、その特徴を理解する。 ○中国の古代王朝から唐の滅亡の流れを学び、他地域との交流や文化や生活についても理解する。		3	
	第4章 イスラーム世界の形成と拡大	○イスラーム世界の形成と拡大を学習するとともに、文化や各地域との交流について理解する。		4	
	第5章 ヨーロッパ世界の形成と変動	○ビザンツ帝国の歴史について学び、その興亡と地理的条件との関連について考察する。 ○西ヨーロッパ世界の成立の経緯を理解し、キリスト教徒の関係についても考察する。	2	5	
	第6章 内陸アジア世界と諸地域世界 第7章 アジア諸地域世界の繁栄と成熟	○中華帝国の成立と発展、ユーラシア大陸に誕生したイスラーム諸国の繁栄を理解する。		6	
	第8章 ヨーロッパの拡大と大西洋世界	○大航海時代の推移について学び、その背景やヨーロッパの経済や社会に与えた影響について理解する。 ○近代ヨーロッパをヒューマンイズムの視点から考察し、主権国家の成立と特色を理解する。	3	7	後期
	第9章 産業社会と国民国家の形成	○産業革命について学び、その特質、背景、影響について理解する。 ○産業革命に加えて、アメリカ合衆国独立、フランス革命、国民国家建設を「革命」という視点で考察する。		8	
	第10章 世界市場の形成とアジア諸国	○帝国主義時代のヨーロッパ諸国の世界進出とアジアの民族運動を関連付けて理解する。		9	
	第11章 世界の分割	○アメリカやドイツを中心とする第2次産業革命について学び、大国の力関係の変化を理解する。		10	
	第12章 二つの世界大戦	○近代戦争の特徴を理解し、戦争の原因を考察する。	4	11	
	第13章 戦後世界の形成と変容 終章 21世紀の課題	○第二次世界大戦後の東西対立、冷戦終結後の世界を概観し、資料を活用して世界の課題を探求する。		12	
	評価方法	年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:50% スクーリング:15% 試験:35% レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。			
単位の修得	①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間12時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。				
使用教科書等	教科書:新選世界史B(東京書籍)				
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。				